

古座川町第4次長期総合計画

2005～2014

清流と元気を次代につなぐまちづくり

平素は町行政にご理解とご協力を頂き、ありがたく感謝申し上げます。



平成 18 年は、町政施行 50 周年を迎える記念すべき年にあたります。国は戦後最大の改革年を迎え、郵政民営化をはじめ町村合併等々あらゆる方面から改革の方向に進んでおります。日本経済の不況が続く過疎高齢化の進んだ中で安心して暮らせる町づくりが大きな課題となって参りました。わが町の基幹産業である林業は大きく転換を余儀なくされ、これに変わる産業の振興が重要な問題となっています。山村の文化や人々の協調、自然の中で生き抜く生活の知恵を大切にしながら町発展に努めてこられた先輩達の努力を生かし豊かな自然と清流古座川を守りつつ安心して暮らせる町づくりに取り組まねばならないと思います。

このたび基本構想の作成にあたり将来の展望に向かって多くの方々から頂きました貴重な意見を生かして基本構想を作成いたしました。今後この基本構想に向かって計画的に町政を推進して参りたいと思います。町民各位、関係機関の方々のご理解とご支援ご協力をお願い申し上げます。

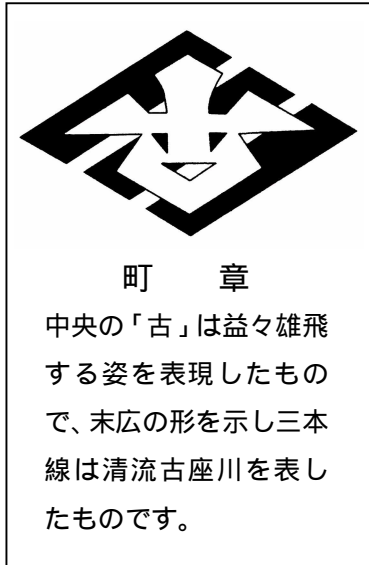
最後に本計画の策定にあたりご協力頂きました多くの方々へ心よりお礼申し上げます。

平成 18 年 1 月

古座川町長 奥根 公平

はじめに

本計画は地域社会の発展や住民福祉の向上をめざし、10年後の平成26年度の古座川町を想定し、激動の社会経済情勢のなかで、今後どのような課題を解決しなければならないかを十分認識し、巨視的かつ長期的な展望にたち、計画期間における取り組みの方向、またそのとるべき施策をあきらかにし、町の行財政運営の基本的方向を示すものである。



(参考)

古座川町長期総合計画	昭和50年10月8日 基本構想議会議決
古座川町新長期総合計画	昭和61年9月29日 基本構想議会議決
古座川町第三次長期総合計画	平成7年9月29日 基本構想議会議決
古座川町第四次長期総合計画	平成17年9月22日 基本構想議会議決

古座川町第4次長期総合計画目次

第1編	序 説	1
第1章	古座川町の変遷	1
第1節	まちの移り変わり	1
1.	地域のまとまり	1
2.	人と産業	2
第2節	まちづくりの歩み	4
1.	長期総合計画策定以前	4
2.	長期総合計画の策定	4
第2章	古座川町の人と自然	7
第1節	町をとりまく地域の動向	7
1.	本町の位置	7
2.	関連する上位計画	8
3.	近年の圏域の動向	9
第2節	古座川町の自然	16
1.	古座川町の地形と気候	16
2.	古座川の清流	17
第3節	古座川町の人と生活	18
1.	人口の動き	18
2.	産業構造	22
3.	土地利用	24
4.	交通条件	25
5.	主な生活利便施設	25
第4節	古座川町財政の現状	30
第5節	まちづくりの資源 - 古座川の特徴 -	31
1.	清流古座川との共生	31
2.	熊野ゆかりの歴史資源	31
3.	柚子製品等特産物の開発・販売	32
4.	地域の個性を生かした施設整備と人的交流ネットワークの拡大	32
5.	交通体系の改善と定住環境の整備	33

第2編 基本構想

34

第1章 基本構想の総論	34
第1節 基本構想策定の主旨	34
第2節 基本構想の性格と目標年次	34
1. 基本構想の性格	34
2. 基本構想の目標年次	35
第3節 基本構想の取扱いと財政運営	35
第2章 まちづくりの将来目標	36
第1節 まちづくりの基本問題	36
1. 人口減少及び高齢化の問題	36
2. 就業構造と定住環境の問題	36
第2節 まちの将来像	36
第3節 まちづくりの目標フレーム	37
1. 定住人口	38
2. 交流人口	38
3. 就業者人口	39
第4節 まちづくりの行動目標	39
第3章 施策の大綱	41
第1節 住んで良かったと思える環境づくり	41
1. 地域のまとまりを維持する	41
2. 生活基盤を充実させる	41
3. 清流古座川を次代につなげる	42
第2節 地域を元気にする産業づくり	42
1. 地域産業を育てる	42
2. 農林水産業の振興を図る	42
3. 商工業・観光業の振興を図る	43
4. 産業ネットワークを形成する	43
第3節 みんなが共に歩めるまちづくり	44
1. 生きがいのあるまちづくりを進める	44
2. 健康づくり運動を進める	44
3. 地域に根ざした福祉を進める	44
第4節 次代を担う人づくり	44
1. 地域に根ざした学校教育を推進する	44
2. 生涯学習を通じて魅力ある人材を育成する	45
第5節 計画の推進に向けて	45
1. 地域に根付いた交流を大きく育てる	45
2. 住民ニーズをまちづくりに的確に反映する	45
3. 次代につなぐための行財政を運営する	45

第3編	基本計画	47
第1章	基本計画の策定に当たって	47
第1節	計画の目的	47
第2節	計画の構成	47
第3節	計画の目標年次	47
第2章	住んで良かったと思える環境づくり	48
第1節	地域のまとまりを維持する	48
1.	地域拠点の整備	48
2.	計画的な土地利用の推進	50
第2節	生活基盤を充実させる	51
1.	交通・通信ネットワークの整備	51
2.	水の供給処理体制の整備	54
3.	資源処理・再利用の体制整備	55
4.	安全なまちづくり	55
5.	居住地の環境整備	57
第3節	清流古座川を次代につなげる	57
	河川環境の保全と整備	57
第3章	地域を元気にする産業づくり	59
第1節	地域産業を育てる	60
1.	地域資源の商品化	60
2.	交流による産業振興	60
3.	ITを活用した産業振興	60
第2節	農林水産業の振興を図る	61
1.	農業の振興	61
2.	林業の振興	63
3.	水産業の振興	64
第3節	商工業・観光業の振興を図る	64
1.	商工業の振興	64
2.	観光業の振興	65
第4節	産業ネットワークを形成する	67
	各産業の連携	67

第4章	みんなが共に歩めるまちづくり	69
第1節	生きがいのあるまちづくりを進める	69
1.	高齢者の参加の促進	69
2.	健康管理の充実と保健、医療、福祉の連携	70
3.	在宅福祉の充実と施設福祉との連携	71
第2節	健康づくり運動を進める	72
1.	健康づくり体制の整備	72
2.	医療体制の確保	73
第3節	地域に根ざした福祉を進める	73
1.	児童福祉の推進	73
2.	福祉のまちづくりの推進	74
第5章	次代を担うひとづくり	75
第1節	地域に根ざした学校教育を推進する	75
1.	学校教育施設の充実	75
2.	ふるさと教育等の推進	76
第2節	生涯学習を通じて魅力ある人材を育成する	76
1.	生涯学習とまちづくり研修の推進	76
2.	地域文化・スポーツ活動の振興	77
3.	学習拠点づくり	78
第6章	計画の推進に向けて	79
第1節	地域に根付いた交流を大きく育てる	79
1.	町内交流の拡大	79
2.	清流古座川に係わる交流活動の展開	80
3.	町外交流の推進	80
第2節	住民ニーズをまちづくりに的確に反映する	80
1.	各種委員会の設置	80
2.	ITを活用した情報の共有化	81
第3節	次代につなぐための行財政を運営する	81
1.	行政組織の検討	81
2.	財政の効率的運営	81